

野菜の需給・価格動向レポート(平成25年3月4日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	2月の価格動向				生育及び価格の3月の見通し			
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	上旬	中旬		下旬		
葉 茎 菜	キャベツ	88.05	107	87	107	・入荷見込量: 18,380 (100) ・主産地: 愛知 (75)、千葉 (13)、神奈川 (7)	・愛知産は、適雨により順調な生育で平年並みの出荷となっており、今後は出荷量の増加が見込まれる。千葉産は、冬場の低温の影響で少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 ・愛知産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
		83.73	111	89	106	・入荷見込量: 5,100t (100) ・主産地: 愛知 (59)、大阪 (15)、兵庫 (11)、和歌山 (6)		
	ねぎ	229.99	233	230	250	・入荷見込数量: 4,540t (100) ・主産地: 千葉 (48)、埼玉 (24)、茨城 (11)、輸入 (5)	・千葉産は、順調な生育となり、今後も平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、低温の影響で細め傾向となっており、今後は平年をやや下回る出荷の見込み。 ・埼玉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。	
		309.39	353	321	342	・入荷見込数量: 520t (95) ・主産地: 鳥取 (25)、群馬 (17)、埼玉 (16)、大分 (16)、静岡 (7)		
	はくさい	61.12	64	70	71	・入荷見込量: 8,972t (95) ・主産地: 茨城 (44)、兵庫 (35)、群馬 (11)	・茨城産は、秋冬ものは低温の影響で小玉傾向となり、今後も少なめの出荷の見込み。春ものは、中旬からの出荷となるものの、最近の降雪の影響で出荷開始が遅れる見込み。兵庫産は、通常の作型と遅れていた作型の出荷が重複し多めの出荷となっているものの、今後は、平年並みの出荷となる見込み。 ・茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。	
		68.7	72	74	75	・入荷見込量: 3,300t (99) ・主産地: 長崎 (54)、愛知 (17) 兵庫 (10)、熊本 (9)、宮崎 (8)		
	ほうれんそう	307.66	400	331	403	・入荷見込量: 1,620t (100) ・主産地: 茨城 (26)、群馬 (26)、千葉 (20)、埼玉 (18)	・茨城産及び千葉産は、最近の寒さの影響等により、少なめの出荷となっているものの、今後は平年並みの出荷になる見込み。群馬産は、作型の切り替え等の影響で減少しているものの、今後は平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
		341.25	431	358	433	・入荷見込量: 660t (100) ・主産地: 徳島 (47)、福岡 (26)、群馬 (11)		
	レタス	233.85	343	223	237	・入荷見込量: 7,340t (100) ・主産地: 茨城 (36)、静岡 (21)、香川 (9)、兵庫 (7)、栃木 (5)	・茨城産は、最近の気温の上昇と適雨により、出荷量が徐々に増加してきており、今後は平年並みの出荷の見込み。静岡産は、小ぶり中心の出荷だったものの大玉の比率も増加し、順調な出荷となっている。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		226.75	342	228	233	・入荷見込量: 1,100t (105) ・主産地: 兵庫 (43)、徳島 (23)、茨城 (13)、香川 (10)、長崎 (6)		
	たまねぎ	76.15	82	89	92	・入荷見込量: 11,639t (103) ・主産地: 北海道 (71)、静岡 (13)、輸入 (2)	・北海道産は、作柄良好で前年を上回る出荷となっている。今後も平年並みの出荷の見込み。静岡産は、降雨の影響で掘り取りの遅れが見られたものの、今後は収穫作業が進み、順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれるものの、需要が堅調なことから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。	
		76.15	88	90	97	・入荷見込量: 4,100 (101) ・主産地: 北海道 (45)、兵庫 (23)、長崎 (12)、静岡 (8)		
果 菜	きゅうり	370.98	316	276	324	・入荷見込量: 5,580t (102) ・主産地: 群馬 (21)、埼玉 (19)、千葉 (17)、宮崎 (15)、茨城 (12)	・群馬産は、寒さの影響により少なめの出荷となっており、今後は出荷量が増加し、平年並みの出荷となる見込み。埼玉産は、適度な日照量と適雨により順調な出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。千葉産は、平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、ピークを過ぎ出荷量が減少する見込み。 ・宮崎産の出荷量が減少すると見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みになる見込み。	
		350.33	300	264	313	・入荷見込量: 1,200t (106) ・主産地: 宮崎 (40)、徳島 (21)、高知 (20)、群馬 (8)、愛媛 (7)		
	トマト	332.69	419	439	476	・入荷見込量: 5,988t (110) ・主産地: 熊本 (27)、栃木 (22)、愛知 (12)、群馬 (5)、福岡 (5)、埼玉 (5)、茨城 (5)、千葉 (5)	・熊本産は、晴天の日も多く気温も上昇していることから順調な出荷となり、今後も平年並みの出荷となる見込み。栃木産及び愛知産は、寒さの影響で生育が鈍り小玉傾向で、やや少なめの出荷となっているものの、月後半からは出荷量が増加する見込み。 ・栃木産及び愛知産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、中旬までは平年を上回って推移する見込み。	
		311.06	385	407	437	・入荷見込量: 1,000t (98) ・主産地: 熊本 (61)、福岡 (16)、愛知 (9)		
	なす	389.03	413	387	386	・入荷見込量: 2,440t (100) ・主産地: 高知 (55)、福岡 (21)、佐賀 (7)	・高知産は、好天と気温の上昇により順調な生育となり、平年並みの出荷の見込み。福岡産も、好天の影響で順調な出荷となり、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		397.74	396	373	376	・入荷見込量: 580t (115) ・主産地: 高知 (36)、熊本 (26)、福岡 (17)、岡山 (11)		
	ピーマン	551.24	749	607	600	・入荷見込量: 1,337t (102) ・主産地: 宮崎 (32)、茨城 (29)、高知 (23)、鹿児島 (16)	・宮崎産は、好天と気温の上昇により順調な生育となり、平年を上回る出荷となり、今後も順調な出荷の見込み。茨城産及び鹿児島産は、順調な出荷の見込み。高知産は、好天と気温の上昇により順調な生育となり、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回って推移している価格は、平年並みに近づき見込み。	
		513.91	690	600	569	・入荷見込量: 290t (116) ・主産地: 宮崎 (57)、高知 (30)、鹿児島 (7)		
	根 菜	だいこん	79.03	102	90	91	・入荷見込量: 11,365t (100) ・主産地: 神奈川 (59)、千葉 (35)	・神奈川産は、寒さの影響で小ぶり傾向であるものの平年並みの出荷となり、今後も順調な出荷の見込み。千葉産は、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
			80.47	96	81	76	・入荷見込量: 3,100t (115) ・主産地: 鹿児島 (32)、長崎 (29)、徳島 (22)、香川 (9)	
		にんじん	101.05	126	123	127	・入荷見込量: 6,844t (95) ・主産地: 千葉 (50)、徳島 (26)、埼玉 (7)、輸入 (5)	・千葉産は、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。徳島産は、最近の気温の上昇により生育が回復してきており、下旬から出荷量が増加する見込み。埼玉産は、少なめの出荷の見込み。 ・徳島産の出荷量が増加すると見込まれることから、下旬からは安定した入荷量になり、平年を上回っている価格は落ち着いてくる見込み。 (※トピック欄参照)
	104.73		121	123	127	・入荷見込量: 2,300t (86) ・主産地: 鹿児島 (61)、徳島 (20)、長崎 (9)		

種類	2月の価格動向				生育及び価格の3月の見通し	
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	上旬	中旬		下旬
いも	さといも	217.95	196	180	190	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入荷見込量: 820t (100)</li> <li>・主産地: 千葉 (33)、埼玉 (30)、輸入 (13)</li> <li>・埼玉産は、残量が少ないため、平年より少なめの出荷の見込み。千葉産は、平年並みの出荷の見込み。</li> <li>・千葉産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		219.65	143	148	141	
も	ばれいしょ	88.17	93	92	88	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入荷見込量: 10,067t (110)</li> <li>・主産地: 北海道 (72)、鹿児島 (26)</li> <li>・北海道産は、引き続き安定した出荷となっている。今後も平年並みの出荷の見込み。鹿児島産は、本格的な出荷となり、小玉傾向であるものの、面積増加により平年より多めの出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。</li> <li>・順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		88.17	92	93	93	

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
- 2) 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものの。

## 2 野菜の需要動向

年	生鮮野菜の購入数量及び購入金額 (1人当たりの購入数量と購入金額)				主要野菜の月別小売価格 (東京都都区部) (単位: 円/kg)					
	購入数量 (g)	金額 (円)	購入数量 (g)	金額 (円)	購入数量 (g)	前年比 (%)	金額 (円)	前年比 (%)	キャベツ	レタス
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,194	100	1,656	101	187	203
2月	4,447	1,610	4,499	1,735		0		0	203	204
3月	4,797	1,765	4,584	1,851		0		0	207	0
4月	4,723	1,834	4,620	1,904		0		0	248	0
5月	5,055	1,905	4,945	1,948		0		0	175	0
6月	5,048	1,881	5,103	1,875		0		0	140	0
7月	4,421	1,691	4,386	1,675		0		0	149	0
8月	4,318	1,689	4,245	1,618		0		0	138	0
9月	4,839	1,783	4,916	1,703		0		0	142	0
10月	5,280	1,840	5,242	1,761		0		0	150	0
11月	5,030	1,630	5,039	1,602		0		0	155	0
12月	5,106	1,819	4,998	1,794		0		0	148	0

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」・過去5か年は、平成20~24年の平均。

資料: 総務省「小売物価統計調査報告」  
1) 過去5か年平均は、平成20~24年の平均。  
2) 平成25年2月の値は、2月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

区分	野菜の輸入数量 (単位: トン, %)			主な野菜の輸入動向 (単位: トン, %)			
	平成23年	平成24年	平成25年1月	輸入先	平成24年1月(A)	平成25年1月(B)	(B)/(A)
生鮮野菜	915,091	112,946,931	103	合計	29,125	20,540	71
加工野菜	1,803,510	107,1,909,671	106	中国	23,928	17,167	72
野菜合計	2,718,600	109,2,856,601	105	アメリカ	5,039	3,167	63
うち中国産野菜合計	1,409,984	110,1,458,418	103	にんじん	5,787	5,691	98
中国産シェア	52	51	52	中国	5,498	5,533	101
				台湾	150	75	50
				ねぎ	4,391	5,356	122
				中国	4,388	5,338	122

資料: ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

資料: 農林水産省「植物防疫統計」。平成25年1月は、速報値である。

## 4 トピック — にんじんの価格動向 —

にんじんの価格は、12月上旬以降平年を上回り、価格が高めに推移しているところである。これは、冬にんじんの主産地である千葉産が、播種時期の夏場の暑さの影響により、発芽不良や生育遅れがあった中で、寒さの影響による生育遅れもあり、11月下旬から少なめの入荷量となり、2月下旬までほぼすべての旬で少なめの入荷量になったことによる。

にんじんは、緑黄色野菜の代表として、ビタミンAの前駆物質であるβ-カロテンの含有量が豊富で、また、明るいオレンジ色は、料理の彩りにも欠かせない野菜である。

にんじんがメインとなる料理は少ないが、和食から洋食まで幅広く利用されることから、指定野菜の中で生産量で7位、購入数量で6位と根強い地位を占めている。また、購入数量は、昭和60年以降は、年間2千7百グラム前後で、安定している。

今後は、千葉産は引き続き少なめの出荷量で推移するものと思われるが、後続の産地である徳島産は気温の上昇により生育が回復してきており、徳島産の出荷が増加する3月下旬からは、安定した入荷量になり、平年を上回っている価格は、落ち着いてくるものと思われる。

なお、にんじんは、国産に不足が生じると輸入量が増える傾向がある。最近の輸入数量は多めに推移しており、国内の安定した生産が望まれる。

### にんじんの入荷量と卸売価格の推移 (11~2月、東京都中央卸売市場)

資料: 青果物情報センター

### 1人当たりにんじんの購入数量 (年間)

資料: ベジ探(原資料)総務省「家計調査(二人以上の世帯)」

### にんじんの月別入荷量と卸売価格の推移 (平成23年、東京都中央卸売市場計)

資料: 東京都「平成23年東京都中央卸売市場年報」

### にんじんの輸入数量と国内収穫量の推移

資料: ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」、農林水産省「野菜生産出荷統計」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。  
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。  
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html)に掲載しています。